

府中の元氣

杉村 vs 自民党

杉村の政治活動の中長期の目標は、

- ①府中を元気に、市民を心豊かにすること
 - ②日本に、自民党と競える政治勢力をつくること
- ですので、自民党とは①において協力もしますが、②を念頭におき、対峙する場面もあります。

●府中市議会で、非自民の議長が誕生

【5/17 臨時会・本会議】

2年前の市議選で自民党が議席を減らし、さらに昨年の談合事件で自民党議員が3名辞職しました。市議会を変えるチャンスと考え、他会派にも働きかけ、議長選挙での勝負となりました。結果は下記のとおりです。

村崎議員（市民フォーラム）	15 票
市川議員（市政会）	12 票

非自公の全会派がまとまった完勝でした。これは今後の議会運営にも微妙な影響を与えるでしょう。

●公契約条例、自民も渋々賛成

【6/21 6月議会・本会議】

早速、効果が表れたのが、「公契約条例」です。公契約条例は、公共事業の現場に関わる労働者の賃金の下限を決めたり、過度な競争を抑制して地域企業を育成するなどを目指すものです。府中ではこれまで、役所と自民党が難色を示してきました。



今は自民の議席が減り市民フォーラムがその気になれば通ります、ぜひ議会主導でやりましょう、と、杉村は市フォに働きかけてきました。議長選挙で応援する際にも、再度その事を申し上げました。

そして議長選挙後の6月議会で急遽、市フォが関係する労組から「府中市における公契約条例（仮称）の制定についての陳情」が出されました。

■都議選 ～小山勝利、自民激減。

都議選結果	前回	今回
小山くにひこ	38381	41037
藤井あきら	27697	町田へ
鈴木きんじ	24959	23335
からさわ地平	13502	15329

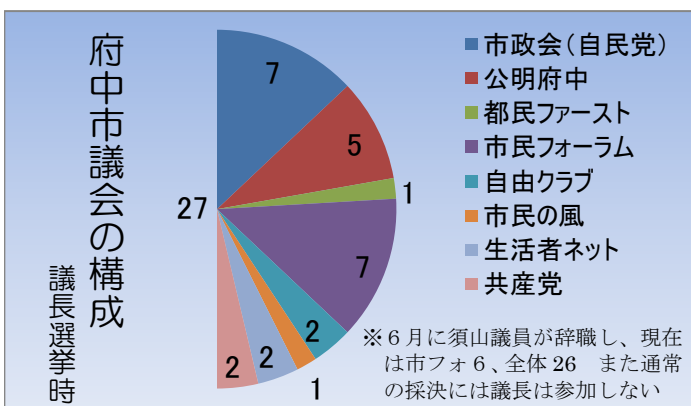
保守票がかなり小山さんに流れたことは間違いありません。共産も増えました。棄権も増えました。自民批判は、受皿さえあれば確実に変化につながります。この結果を府中の変化に必ず、活かしてまいります。



公明党が前回は藤井氏を、今回は鈴木氏を応援したので、公明票の上積みが最低1万として、自民はいかに票を減らしたのか！

2年前の市議選の際、杉村への選挙妨害ピラがまかれましたが、昨年の談合事件の捜査の過程でピラの犯人が特定（自民関係者）、本人から謝罪がありました。

ピラ記事は虚偽であるとの文書が示され、中学の同級生でもあったので、告訴を取り下げ示談としました。これからも臆することなく発言してまいります。



自民・公明は慎重意見を主張しましたが、最終的には賛成に回り全会一致で採択されました。契約課の職員に今後の対応を尋ねたところ、採択されたのでやらないわけにはいかないですね、と思わず本音が漏れました。

■米軍通信施設占有地、返還へ

府中市にはまだ米軍基地が残っています。6月の市議会で、この通信施設の返還を求める意見書を、自民党も含めた全会一致で可決しました。(8/5に返還が決定!) これも、議会構成の変化が影響していると思います。

※自民党の過去の発言はこちら↓(横田基地に関連して)
【自民党市政会】「府中市として米軍に対してこういったことを要望というのはそもそもできると思いませんか? できないんだと思います。」【H30/12/6 総務委】

【杉村】「万が一墜落した時に市が情報収集できるよう、米軍に事前に要請しておくことが必要だと思う。」
【H30/12/18 本会議】

事前調査では、自民党の鈴木候補がトップの予想でした。菅（スガ）政権が迷走し、府中でも自民党が談合事件を起こしたというのに、なぜ? という想いでした。しかし開けてみたら結果は、真逆の圧勝。

ハッキリ YES! ハッキリ NO!

フリーダムネット

発行:府中市議会・自由クラブ 府中市宮西町 1-24

府中の元氣

No.84 2021.10

談合事件から一年 市と議会は

新しい証言 = 「別の議員にも数字を教えた」(元部長の証言)



府中市議会議員
杉村康之

■「新しい証言」をなぜ調査しない?

昨年6月に議員2人が逮捕された入札妨害事件。再発防止のため、行政側では①入札制度、②職員と議員の関係について、第三者の機関も設けて調査・検討しています。ただ、裁判で明らかになった「新しい証言」については調査をしないと言う。

【2/25 本会議・一般質問】

【杉村】裁判で塚田元部長が「加藤議員にも数字を教えた」と新たに証言した。なぜ調査しないのか?

【政策総務部長】警察によって調査が尽くされている。

【杉村】事件の調査ではなく、再発防止のための調査は?

【政策総務部長】再発防止のための調査は第三者委員会によって行う。「新しい証言」はその対象ではない。

【杉村】事件直後の市長コラムに「絶対隠さないと心に決めた」とある。前体制だったら握りつぶされていたかもしれない。誰にでもできる決心ではなかったと思う。

●かばっているのかと市長が疑われますよ

【杉村】ただ「新しい証言」の調査は再発防止のためにも役立つ。なぜ、ここだけ除外するか? 元議員だからか? 職員からは聞きづらくても、加藤さんは市長が求めれば答えるでしょう。市長の後継者なんだから。放っておくと、かばっているのか、と疑われます。なぜ2人が捕まって1人は捕まらないのか? 「松岡会(※)」とかいう団体と関係があるのか? などと、疑念が広がります。

翌日に突如、市長が立ち、私の発言にも触れて異例の「発言」をしました。通常は質問に対して答弁することになっていますが、質問がないのに「発言」しました。きわどい指摘に、発言せざるを得なかったのでしょうか。



ご意見をお聞かせ下さい

Web www.sugimura-yasuyuki.jp
✉ sugiyasu.au@gmail.com

☎ 080-5185-1236
Blog ameblo.jp/sugimurayasuyuki



議会活動へのご支援もよろしくお願ひします

きらぼし銀行 府中支店 普 0825186 フリーダムネット
みずほ銀行 府中支店 普 4484076 フリーダムネット
ゆうちょ銀行 〇一九店 当 0102251 フリーダムネット
郵便振替 00150-1-102251 フリーダムネット

【1】入札制度に関する問題

・なぜ談合が起きるのか～それぞれの動機、原因

- ①事業者は、入札の予定価格を聞き出し、仕事をとりたい
- ②役所は、入札不調にたくない
- ③議員は、間に入ってまとめた（役所への協力？ 票？ 金？）

・役所の再発防止策

- 予定価格の事前公表
事業者が価格を聞き出す①の必要がなくなる
→デメリット：競争が働きにくい？ 質の低下？
そこで、弱点を補うために
- 総合評価制度を導入
価格だけで決めず、技術力や会社の規模など総合力で判定

杉村の主張＝「議会としても、制度について議論すべき」
自・公・市フ＝役所のことだから議会で議論する必要なし
(市フは、立憲、社民、労組系無所属議員からなる会派)

■公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会

- ・令和2年6月の市議会決議を受けて、設置された特別委員会
- ・設置目的は、入札妨害事件の再発防止
- ・府中市議会初の「議員間討議」を導入している

事件直後の市議会決議文で、議員全員が、

- ①議員と職員の関係を検証
- ②議会運営の改善に努力すること

を市民に「遵守を誓い」ました。

当然②もやるべきですが、
市政会は、この決議の②を無視しようとしています。
またそれに No といえないのが、公明と市フです。

【2】議員と職員の関わりの問題

・事件のきっかけは？

- ①議員から「不当な圧力」をかけた可能性
- ②元部長が入札不調を避けるために議員に協力依頼した可能性

・役所の対策案は、

- 執務室に議員を入れない、議員からの要望は記録、電話は録音など
- 現状②が不問にされており、①のみ対策強化されつつある
これではますます、議会の力が弱められることを危惧します
②への対策として、「職員の価格積算能力の向上 こそ必要だ！」

・議員と職員間での質問の事前調整

- ひどい場合は、職員に質問をつくってもらう議員もいます
質問をより深めるために、多少の打ち合わせは必要ですが
過度の質問調整は「質問を和らげる」など緊張感を無くします

事件の概要 ～ 談合事件から1年

- ・官製談合事件＝職員（元部長）が入札価格を漏洩
- ・入札妨害事件＝議員が事業者に伝えることで公正な入札を妨害
- ・元部長、A 議員（自民）、B 議員（自民）、事業者3人が有罪確定
- ・議員が、自ら策定した議会基本条例の政治倫理規定に違反

元部長の公判証言によれば、（傍聴者、新聞記事の情報）
「入札不調にしくなかつた」
「なんども議員から電話がかかってきた」
「数字を漏らせば、議会の質問を和らげてくれると思った」
「A 議員に教えたので B 議員にも教えないといけなかった」
さらに、公判中に証言、
「C 議員（自民）にも数字を教えた」（C は証拠不十分。議員は辞職）

※C は、毎日新聞の取材に「業者から聞かれた数字を部長に示して、これくらいですか、と尋ねた気もするが自分の甘さを反省している」と答えた。

これってアウトやん

倫理条例だけで再発防止できると思いますか

法律を守らない人が、倫理条例を守るでしょうか
元を正さなければ、また繰り返されます
府中市議会のルール軽視、なれ合い体質が、元凶です

ぜひ、ご意見をお寄せ下さい

再発防止対策～杉村の考え

事件の原因は、①入札不調、②個人の倫理欠如と
③議会の悪しき体質（なれ合い、ルール軽視）にある

【杉村】平成8年にも談合事件があったが、なぜ再発したと思うか？
【政策総務部長】倫理規定を作成し研修等も行ったが風化してしまった
【2021/2/25 本会議】

風化させないためには、倫理条例で個人の倫理を規定するだけでなく、
集団の倫理や風土、つまり議会の文化や慣習を改めることが必要です

- ・質疑において職員と過度の事前調整をしない（＝議員の能力向上）
- ・個人に魔が差さないよう、会派が所属議員の言動に責任を持ち、
- ・法律・条令・規則・決議などルールを軽視させない

つまり議会と役所、議員同士はなれ合いになってはならない、のです

講師が言う「風土の問題」について、ある自民議員曰く「あれはあの先生の意見だから」

再発防止・議案編

自公フォは、倫理条例でお茶を濁そうとしています

杉村が「グリーン車を使うなら視察にはいかない」と抵抗して、骨抜き利用を撤回させました。

【3】個人の倫理だけの問題？

現在、再発防止の委員会で倫理条例案を審議中です。内容は、例えば「議員は不正に金品を授受しない」「税金を滞納しない」などですが、あたり前のことを並べただけの内容です。

・倫理条例で再発を防止することができるでしょうか？

もともと、談合は法令違反で、金品の授受も法令違反です。
府中市の議会基本条例にも政治倫理規定がありました。
法律も基本条例も守らない人が、倫理条例を守るでしょうか？

・府中市議会研修会を開催。全員がコンプライアンスを勉強
講師の先生によれば、こういった事件の原因は

「一つは、個人の倫理の問題
もう一つは、背景にある集団の倫理、風土の問題」にある
その両方に対処しないと、同じことがまた繰り返される」と。

■府中市議会基本条例

（政治倫理）
第4条 議員は、高い倫理的義務が課せられていることを深く自覚し、良心と責任を持ち、議員としての品位の保持に努めるものとする。

・この条例を策定した委員会の委員長が A 議員で、
B 議員も委員会のメンバーだった。

（条例の検証等）
第18条 議会は、この条例の目的が達成されているかどうかを検証し、必要に応じてこの条例の改正その他の適切な措置を講ずるものとする。

・条例の解説文は、「不断に検証」することを解説しています。
しかし自民党は、事件への反省なく、「検証」を頑なに拒みます。

【4】集団の倫理・風土、議会の文化・慣習

・グリーン車問題に象徴される府中市議会のなれ合い

自公フォには、「みんなで渡れば怖くない」的なところがある。
市民に言えない、議会内だけで通用する文化が結構あります。
市議会視察の移動でグリーン車は「原則使わない」規定でしたが、
H26 に、委員長が判断すれば利用可との但書を追加しました。
自公フォの委員長は「視察先で疲れる」を理由にグリーン車を利用

・そんな文化・慣習のなかで、ルール軽視が
「談合は必要」とか「議会基本条例の検証はしなくていい」
などと、法令を軽視した勝手な解釈も放置されてきました。
市民に遵守を誓った再発防止の決議すらすでに軽視しています。
小さなルール軽視の積み重ねが、心のハードルを低くさせ
大きな犯罪行為に結びついてしまったのだと私は思います。
ですから、再発の防止は
日常的に小さなルール軽視をつぶしていくことから始まります

価格だけなら判定が明確だけど、総合評価ってかえって不透明にならないかな？

委員会の議論は、倫理条例のみ派と②も併せてやるべき派に分かれています。

（決議②についての発言）
「全部一つ一つ当てはめて考えるのではなくて、この決議全体を受け止めて考えております」
自民・増山議員 R3/6/8

裁判で①と認定されただけではない。②の可能性もあります。これって役所に都合のいい対策案だよな

なれ合いの最たるもの